

日本気象学会および関連学会行事予定

| 行事名 | 開催年月日 | 主催団体等 | 場所 | 備考 |
|---|-----------------------|--|--|---|
| 第32回乱流シンポジウム 第11回計算流体シンポジウム 第17回エアロゾル科学・技術研究討論会 | 2000年7月25日 ～27日 | 日本流体力学会 (協賛) 日本気象学会 | 京都大学工学部物理系校舎 (京都市左京区吉田本町) | |
| 第9回近畿・酸性雨講演会(京都)環境問題の中での酸性雨現象の枠組みのとりえ方 | 2000年7月25日 | 大気環境学会酸性雨分科会, 酸性雨研究会 (共催)大気環境学会近畿支部・各部会 | ハートピア京都 (京都府立総合社会福祉会館) 3階大会議室 | 「天気」47巻6月号 |
| 第17回エアロゾル科学・技術研究討論会 | 2000年8月2日 ～4日 | 日本エアロゾル学会 (共催) 日本気象学会 | 広島大学理学部 (東広島市鏡山1-3-1) | http://home.hiroshima-u.ac.jp/ |
| 水文・水資源学会2000年度総会・研究発表会 | 2000年8月6日 ～8日 | 水文・水資源学会 | 滋賀県琵琶湖博物館(6日)(滋賀県草津市下物町1091) 京都大学農学部(7, 8日)(京都市左京区北白川追分町) | http://hywr.kuciv.kyoto-u.ac.jp/~hywr/2000/2000.html |
| 第34回夏季大学「新しい気象学」～雲をつかむ～ | 2000年8月23日 ～25日 | 日本気象学会 | 東京大学山上会館 (東京都文京区本郷7-3-1) | 「天気」47巻5月号 |
| 日本陸水学会第65回大会 | 2000年9月14日 ～17日 | 日本陸水学会 | 福岡大学 (福岡市城南区七隈8-19-1) | http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/~jslim/doc/taikai63.html |
| 可視化情報学会全国講演会(札幌2000) | 2000年10月7日 ～8日 | 可視化情報学会 | 北海道工業大学 (札幌市手稲前田7条4-1) | |
| 第2回大気・環境・宇宙リモートセンシングに関するSPIE国際アジア太平洋シンポジウム | 2000年10月9日 ～12日 | 米国光学技術学会, 宇宙開発事業団, 東北工業大学 (協賛) 日本気象学会 | 仙台国際センター (仙台市青葉区青葉山) | |
| 日本気象学会2000年秋季大会 | 2000年10月18日 ～20日 | 日本気象学会 | 京都テルサ (京都府京都市南区東九条下殿田町) | 「天気」47巻5月号 |
| 風災害フォーラム「21世紀を前に一強風災害の変遷と教訓一」 | 2000年11月6日 | 日本風工学会 (共催) 日本気象学会 | 建築会館ホール (東京都港区芝5-26-20) | |
| 第2回SPARC総会 | 2000年11月6日 ～10日 | WCRP/SPARC | アルゼンチン マル・デル・プラタ | 「天気」47巻1月号 |
| 第28回全日本科学機器展 | 2000年11月28日 ～12月1日 | 東京科学機器協会, 日本工業新聞社 (後援) 日本気象学会 | 有明・東京ビックサイト | |
| 第23回極域気水圏シンポジウム | 2000年11月29日 ～30日 | 国立極地研究所 | 国立極地研究所・講堂 | 「天気」47巻6月号 |
| 第16回風工学シンポジウム | 2000年11月29日 ～12月1日 | 日本学術会議社会環境工学研究連絡委員会自然災害工学専門委員会 | 日本学術会議講堂 (東京都港区六本木) | |
| 第19回日本自然災害学会学術講演会 | 2000年11月30日 ～12月1日 | 日本自然災害学会 | 大宮市民ホール (大宮ソニックシティ・ビル内) | 「天気」47巻4月号 |
| | | | | |

| | | | | |
|--------------------|--------------------|--|--|------------|
| 第37回自然災害科学総合シンポジウム | 2000年12月2日 | 自然災害総合研究班 (共催)京都大学防災研究所 | 大宮市民ホール (大宮ソニックシティ・ビル内) | 「天気」47巻4月号 |
| 第3回東京湾海洋環境シンポジウム | 2000年12月8日 | 東京湾海洋環境シンポジウム実行委員会 (共催)日本気象学会 | 東京都品川区 船の科学館 | |
| 第50回理論応用力学講演会 | 2001年1月23日 ～25日 | 日本学術会議メカニクス 構造研究連絡委員会 (共催)日本気象学会 | 日本学術会議講堂 (東京都港区六本木) | |
| 極気候変動に関する第2回和達国際会議 | 2001年3月7日 ～9日 | 第2回和達国際会議実行委員会 | つくば国際会議場 (エポカルつくば) (茨城県つくば市竹園2-20-3) | 「天気」47巻5月号 |



助手（北海道大学低温科学研究所寒冷海洋圏部門）の公募

1. 公募人員：助手1名
2. 所属：低温科学研究所寒冷海洋圏部門
3. 研究内容：大気中の有機化合物の起源および変質過程を化学的手法（観測および実験）により研究する方を希望します。当研究所は寒冷圏および低温条件下における科学現象の基礎と応用の研究を目的とする全国共同利用の研究所であり、その中で当該部門は寒冷海洋域が地球全体の気候システムにおいて果たしている役割の研究を中心課題としています。当研究所の化学関係のスタッフとしては、海洋環境グループに河村公隆（教授）及び中塚武（助教授）が在籍しています。詳細は低温科学研究所のホームページの組織、研究者一覧を参照して下さい（<http://www.lowtem.hokudai.ac.jp/home.html>）。着任後は、大学院地球環境科学研究所・大気海洋圏環境科学専攻の研究指導（補助）を担当していただく予定です。
4. 応募資格：博士の学位を有する者又はそれに準ずる能力があると認められる者
5. 着任時期：決定後なるべく早い時期
6. 提出書類：
 - (1) 履歴書（連絡先、大学入学以降の学歴、研究・教育歴、学位、受賞歴など）
 - (2) 主な研究歴
 - (3) 研究業績リスト
 - (4) 主要論文別刷り5編以内（研究業績リストに○印）
 - (5) これまでの研究概要（2000字程度）
 - (6) これからの研究展望（2000字程度）
 - (7) 応募者についての意見を聞ける人2名の氏名と連絡先
6. 公募締切：平成12年10月2日（月）必着
7. 書類提出先：

〒060-0819 札幌市北区北19条西8丁目
北海道大学低温科学研究所長 本堂武夫
8. 問い合わせ先：

北海道大学低温科学研究所教授 河村公隆
TEL 011-706-5457, FAX 011-706-7142
9. その他：封筒の表に「寒冷海洋圏科学部門助手応募書類」と朱書きし、書留でお送り下さい。